

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 31 日作成)

小委員会名	木造建築構法小委員会	主 査 名：山畑信博 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会(構法計画運営委員会)	委員長名：菊地成朋 主 査 名：南一誠
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災復興の応急仮設住宅に関する調査 民家見学会、木造構法関連研究の報告会 ・ 応急仮設住宅の本設住宅への課題等に関する調査 在来および伝統木造建築の構法史・性能の再評価と技術研究 木造建築における新技術や構法開発の情報収集 ・ アジアを中心とする海外の木造建築構法に関する情報収集 伝統木造建築の構法と用語に関するWGの開催 ・ 持続可能な社会における木材供給と木造建築のあり方に関するまとめ 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有	
	主査 山畑 信博 (東北芸術工科大学) 幹事 堀江 亨 (日本大学) 小林 久高 (森林総合研究所) 委員 金子 晋也 (神戸芸術工科大学) 河合 直人 (工学院大学) 後藤 治 (工学院大学) 左海 冬彦 (建築行政情報センター) 杉本 健一 (森林総合研究所) 樋口 貴彦 (東洋大学) 福濱 嘉宏 (福濱嘉宏建築事務所) 藤田 香織 (東京大学) 松留 慎一郎 (職業能力開発総合大学校) 源 愛日児 (武蔵野美術大学) 村上 淳史 (村上木構造デザイン室) 吉田 倬郎 (工学院大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	伝統木造用語WG：伝統木造建築を対象として、建築構法の視点から日本語と英語の語彙データベースを作成し、イラストを併用した用語集として体系化することを目的としている。	
2012 年度予算	185,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. WG、民家見学会、木造構法関連研究は目標を達成できた。 2. 震災復興の応急仮設住宅に関しては、福島県に対する詳細調査結果は得られたが、宮城県と岩手県に関しては資料を収集するのみに留まった。

委員会活動の問題点 ・課題	1. 研究会への委員の参加者数が少ない。(WG メンバーおよび公聴者の参加は多い。) 2. 3.
------------------	--